



保険者国保事業紹介 — 医療費適正化に向けた取り組み —

— 伊根町 —

ひとが活き生き〜伊根町の概要〜



伊根町マスコットキャラクター
「ふなやん」

伊根町は京都府北部の丹後半島北端に位置し、東から北は日本海に面し、南は宮津市に、西は京丹后市に面しています。面積は62平方キロメートルとなっておりです。

雄大な自然に包まれたまちで、湾口部には伊根湾を取り囲むように形成された舟屋群は国の重要伝統的建造物群保存地区に選定され、さらに日本を紹介する旅行ガイド「ミシユラン・グリーンガイド・ジャパン」で伊根町の景観が二つ星として紹介されました。

他にも「浦島太郎伝説」や「徐福伝説」、民俗芸能、特産品などの魅力を生かして「ひとが活き生き」のまちづくりに取り組んでいます。



○国保の概況

被保険者数は平成26年12月末時点で人口2、339人のうち704人となり、全体の30・09%を占めています。また、伊根町全体の高齢化率は43・95%で、国保加入者の高齢化率も44・89%と非常に高く、年々高齢化が進行しています。

平成25年度の一人当たりの医療費は、若人で247、927円と府内でも高い数値となっていました。高齢者は472、321円で逆に府内でも低い数値となっております。

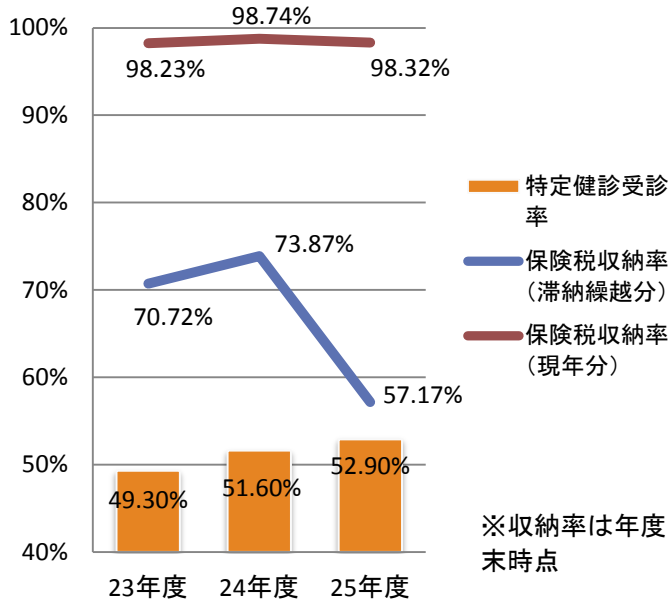
年度	被保険者数	前期高齢者数	前期高齢者の割合	総人口	高齢化率
23年度	751	288	38.3%	2,483人	41.4%
24年度	737	290	39.3%	2,421人	42.2%
25年度	716	314	43.8%	2,357人	43.4%

○特定健診受診率向上対策

平成25年3月に伊根町国民健康保険第2期特定健康診査等実施計画を策定し、町民の健康づくりと特定健康診査・特定保健指導の受診率向上に取り組みんでおり、特定健康診査の未受診者には、保健師が電話等で対象者に受診を勧奨しております。

また、30歳以上の被保険者を対象として、人間ドック利用助成事業を実施しています。個人負担をドックの種類ごとに3,000円、PET健診は40,000円とし、さらに当該年度に30歳、35歳、40歳、45歳、50歳、55歳、60歳、65歳の誕生日を迎える方については、PET健診は20,000円の自己負担、その他のドックについては無料としています。

特定健診受診率・保険税収納率グラフ



○収納率向上対策

滞納となった国民健康保険税の徴収については、平成22年度から京都地方税機構に移管しており、伊根町の収納率は府内で最も高い数値となっております。今後も高い収納率を保てるように努めていきます。

○在宅療養(在宅看取り)研修会

「みんなで考えよう！在宅療養」町民との懇談会

高齢化が年々進行している伊根町で、医療や介護が必要となっても、住み慣れた伊根町で生活するために必要なことや、現在抱えている不安について意見交換するため、ワールドカフェ形式で懇談会を開催しました。

町内各地区で計5回開催し、町民の約1割にあたる約200名の方々に参加いただきました。

「自分自身、もしくは親しい人の最期の時間をどこで過ごしたいか？」をテーマとして取り組み、町民の方々や町内で医療・福祉事業に従事する方々から様々な意見や要望をいただきました。

その中で、やはり多くの方が「在宅での医療・介護」を希望されていることがわかりました。

今後は医療や介護を受ける本人や家族、地域、そして行政とそれぞれの役割を認識して、「在宅」が推進できるよう取り組みを進めていきます。

第16回伊根町観光写真コンテスト入賞作品



ワールドカフェ形式の懇談会